



2010年(平成22年)

11月4日

木曜日

速報版

国際交流拠点
開設式

発行所 新潟日報社

〒950-1189

新潟市西区善久 772-2

日報ホームページ

<http://www.niigata-nippo.co.jp/>

日米県人 絆が つ ち り



国際交流拠点開設式に参加した高橋社長(中央右)大坪会長(中央左)と県人会などのメンバー＝4日、ニューヨーク市の大坪会長の事務所

NYに「発信基地」

本社が設 開 故郷と情報交換へ

9月に新潟市で開催された県人会大交流祭を契機として、「ふるさと新潟」を軸にした連携を強化するため国際交流拠点の設置を決めた。

新潟日報社(高橋道映社長)は4日、米国のニューヨーク(NY)新潟県人会(大坪賢次会長)と連携し、本社国際交流拠点をニューヨーク市に開設した。米国在住の県人の活躍、消息情報を新潟日報紙上で紹介していくほか、県人同士の交流を深めるための拠点とする。

NY市中心部にある大坪会長の事務所で行われた開設式には、高橋社長、大坪会長をはじめ同県人会のメンバーらが参加。高橋社長から大坪会長に国際交流拠点ニューヨーク代表の委嘱状と名刺が手渡された。

高橋社長は「地方紙としての新たな試み。県人会のネットワークを全世界に広げ、NYを拠点に日本全体の元気を取り戻そう」と開設の意義を強調。大坪会長は「世界の情報を送って新潟県づくりにつなげるとともに、新潟から多くの情報を送ってもらい、米国人に新潟を知ってもらいたい」と意気込みを語った。

交流拠点開設を機に今後、米国発の情報を新潟日報紙に随時掲載するほか、新潟日報紙面などを「ふるさと情報」として米国側に発信し、双方向の情報交換を行う。



国際交流拠点が設置されたマンハッタンの市街地＝4日